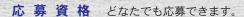


# 夢・大地 みんなが愛する水の里



- ●「登米市」の地域やイメージにふさわしい市章であること。
- ●市旗、バッジなどにも使用できるデザインであること。

## 募集する市章

- ●用紙の色は地色を含め、4色以内であること。グラデーション(ぼかし、濃淡)は不可。
- ●単色で表現してもイメージや安定感が損なわれないものであること。
- ●ほかの市町村章や商標などと類似しないデザインであること。
- ●自作の未発表作品であること。
- ●1人何点でも応募可能。
- ●応募は、指定の応募用紙または縦横15センチメートルの枠を書いたA4白色用紙(天地を明示) を縦長で使用し、用紙1枚につき1作品とする。
  - ※応募用紙は、各総合支所窓口、各公民館に備えています。

### 応募方法

- ※登米市のホームページからも応募用紙はダウンロードできます。
- ●応募に当たっては、「デザインの趣旨(100字以内)」、「郵便番号」、「住所」、「氏名(ふり がな)」、「年齢」、「性別」、および「電話番号」を用紙に記載すること。
- ●応募は、持参または封書による郵便とする。 ※デザインの趣旨を尊重するため、メール、ファックスによる応募は受け付けしません。

### 平成17年7月1日(金)~8月31日(水) 応募期間

### 応募された作品の中から、市民憲章等検討委員会が候補5点を選考し、その中から採用作品1点 選考方法 を決定します。

### 最優秀賞(採用作品) 1 点 地域地場産品20万円相当 賞 優秀賞(候補作品) 4点 地域地場産品2万円相当

- ●応募作品は返却しません。
- の
  - ●採用作品を使用する際、作品に若干の変更を加える場合やモノクロで使用する場合があります。
  - ●採用作品に関する一切の権利は、登米市に帰属します。

登米市役所企画部企画調整課「市章募集」係 応 募 先 〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1(迫庁舎2階) 問い合わせ **75**0220 (22) 2147



# 平成17年度の市政の方向を慎重に審議した第1回市議会定例会(6月15日、市議会議場)

# まちづくり

市長は、市政運営の所信30日まで開かれました。定例会が、6月15日から定例会が、6月な日からの方向、予算などを審議 を力強く述べました。 平成17 年 度 か 市 :政運営

という大きな枠組みの中で、 た」と感じていただけるまち 皆さんが「合併をして良かっ 平感が生じないよう「公平・ それぞれの地域に偏りや不公 りとすることのないように、 誕生しました。この選択を誤 多くの協議を重ねて登米市が た「合併」の選択をし、9町 公正」を旨とし、多くの市民 行政の体質改善を図りながら、

脚した「登米市行財政改革大 経営という視点からとらえ、 ち返るとともに、行政運営を 地方自治運営の基本原則に立 サービス精神と経営感覚に立 の経費で最大の効果」という 注し取り組んでいきます。 づくりに、 住民福祉の増進」と「最小 行財政改革については、 を早期に策定します。 最大限の努力を傾

> なっています。 財政計画の状況をとらえた上 財政計画を尊重した内容に された新市建設計画における 合併準備作業の中で調整 国の予算編成方針や地方

本的に継続事業を優先計上し 算として専決処分していたも 今回提案しています予算案 市長職務執行者が暫定予 投資的経費については基 内容を精査調整した上

本年度の登米市予算の編成



究極の行政改革」といわれ

)職員の初動体制の体系化

般優先電話および衛星携

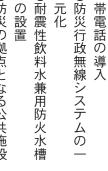
の補正計上で対応していきま さらに調整した上で9月以降 新規事業などについては、

算内容に基づいた重点施策を 各分野ごとに説明いたします。 それでは、平成17年度の予

いつ発生するかわからない

的に進めていきます。 りを目指し、次の項目を計画 に備え、災害に強いまちづく 地震や風水害などの自然災害

- 一登米市地域防災計画の策定
- 災害対策本部の設置基準、 職員配備計画の見直し



防災の拠点となる公共施設 の設置

えられることから、次の項目 を進めていきます。 分な活動が行えないことも考 関による防災活動のみでは十 大きい災害時には、公的機 また、大地震のような規模 などの耐震診断調査

)自主防災組織の育成

他団体などとの災害応援協 定の締結

防災訓練の実施

消防防災センターの整備 )広報紙、チラシなどを活用 した市民の防災意識の高揚

進していきます。 協働で効率的かつ効果的に推 通安全対策を、関係機関との 主要な地域です。このことか 道が走っており、 『的に推進するとともに、交 登米市は国道および主要県 交通安全施設の整備を計 広域交通の

)交通安全施設の整備

防止に配慮した施設整備を図 )関係機関との協働 さらに、 地域における犯罪

犯罪のない明るく安全で

きます。 民一人ひとりが防犯意識を培 めていきます。また、関係機 住みよい地域環境づくりに努 的に推進されるよう努めてい による防犯活動を助長し、市 関との連携により、民間組織 地域ぐるみの活動が効果

# 保険・医療

重要性が高まっています。 会の中、保健・医療・福祉の 急激に進展する少子高齢社

きます。 暮らせる「健康都市」を目指 医療費の軽減にも貢献してい 生涯現役を目指すことにより や「介護予防」に重点を置き とに「健康日本21登米市計画 して、市民の参加・協働のも ワードとし、誰もが安心して (仮称)」の策定に着手します。 病気を予防する「一次予防」 「健康」「安心」「安全」をキー

)新生児訪問、乳幼児健診な どの充実強化

直し

各種健康診査の総合的な見

直し

国民健康保険被保険者の適 る精神障害者の地域生活支援 小規模作業所運営などによ 正な把握

)疾病分析などによる医療費 保険税の収納率の向上

の適正化

上米

検の充実 問指導ならびにレセプト点 重複頻回受診者に対する訪 保健事業の推進

)とめ圏域障害者プランの見 )第3期介護保険事業計画策定

福祉団体の育成 老人ホームなどの高齢者福 )養護老人ホーム、特別養護 祉施設の計画的な整備

重度障害者への支援、 登米市障害者福祉計画の策定 地域

)知的障害者グループホーム 体験ステイ事業の実施 移行への支援

> )知的障害者地域生活移行型 施設機能強化事業の実施

)延長保育、一時保育、 ) 登米市次世代育成支援行動 高齢者保健福祉計画の策定 児保育、子育て支援センタ 育成、子育て支援策の推進 計画に基づく、児童の健全 ー事業の取り組み 障害

の充実 )児童館における、母親クラ

子どもたちの体験活動教室

ティア活動の推進 ブなどの団体育成、 ボラン

被保護世帯の自立に向けた )児童虐待対策への取り組み